

# 環境相賞にGW三島

## 日本水大賞

### 地域協働で「活動正しかった」 水と緑創造

長年にわたり市民や行政、企業など地域協働による環境改善活動に取り組んでいる三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)

三島の活動事業「地域協働で水の都・三島の水と緑のネットワークを創造」が、第18回日本水大賞の環境大臣賞を受賞した。さきごろ、東京で開かれた表彰式で秋篠宮さまご夫妻臨席のもと、表彰を受けた。

同大賞は、水循環の健全化を図る上で社会的貢献度が高く、総合的に特に優れた活動に対して贈られる。GW三島は長年の活動のほか、豊かな水辺空間の

再生により市民の憩いの場や観光スポットとして親しまれ、空き店舗解消の効果を生み出していること、河畔林を維持するための運動や植林活動の取り組みなどが評価された。渡辺豊博専務によると、会場で面談した平

口洋環境副大臣は「市民団体がこれだけまちづくりの根幹に関わるのか」と驚いていたという。渡辺専務は「三島の持つ価値と私たちの活動が正しかったと

評価されたことがうれしい」と受賞を喜んだ。

GW三島は、23年間にわたり地域協働による活動を通して、環境が悪化した「水の都・三島」の原自然を再生するため60カ所の環境改善活動に取り組んできた。特に狩野川旧河川敷の松毛川や富士山水系の湧水地が点在する境川、三島市街地を流れる源兵衛川の3河川を中心に希少種の生息環境の再生や潜在自然植生の植樹などを行い、各川の環境特性を高めた。

また、消滅したミシマバイカモや絶滅危惧種ホトケドジョウを復活させ、ホタルが乱舞する親水性の高い川をよみがえらせた。

23日に、GW三島のメンバーが市役所を訪れ豊岡武士市長に受賞を報告。豊岡市長は「長年の地道な活動が大きく評価されたことを大変うれしく思う。市民を代表して敬意と感謝を表したい」とたたえた。川勝平太知事にも報告した。



平口環境副大臣(前列左から4人目)と日本水大賞の環境大臣賞を受賞したGW三島=東京都の日本科学未来館